

先日の、油流出事件の際の断水には、暑い中、大変なこととなりました。何が起るか分からない、非常事態に対する準備の重要性をよく考えさせられました。また、近隣市町村の応援も受けることとなり、広域行政のあり方についても、考えておくべきでありましょう。

平成十三年三月と六月定例議会に、私が行った、議会活動について、御報告致します。

平成十三年三月定例議会

男女共同参画社会推進条例の制定について

今や、男女共同参画社会の実現については、国をあげて取り組んでいる課題であり、各都道府県、市町村では、条例の制定が進んでいる。

市の行政意識を具体的にみる意味で、市職員全体の一般職員の占める女性職員の割合、及び役職者の割合を尋ねたところ、市職員の女性の割合は32.9%、女性役職者の割合は2.9%ということであった。まだまだ、男女平等とは言いがたい数字だが、今後とも、男女共同参画社会の理念に沿って、男女均等雇用、役職位の登用を進めるとのことであった。計画を実効性のあるものとするため、条例によって住民の認識を改革、行政がリードする形で進めていくべきである。高萩市としても、条例制定について前向きに検討したいとの答弁であった。

この問題については、**住民一人ひとりの認識をしっかりと持つことが大切**であるので、皆様方にも、男女共同参画社会の実現に向けて考えて頂きたい。

子育て支援の充実について

少子化が進む中、児童虐待、いじめなど、子供をめぐるとさまざまな問題がある。

一人の人間を育てるといふ親としての自覚を持つよう、**子供をもつ親に対して、必須の講習として子育ての心の教育を提案**したところ、子供を健やかに育てる親の役割を、さまざまな学習機会に生涯学習の一環として、助言指導充実にあたりたい、健康づくり課の事業の中で講習会を行ったり、母子保健連絡協議会の中で、子育て支援ネットワークづくりを行っており、今後、さらに検討していくとのことであった。

放課後児童クラブが、なぜ保育園、幼稚園の近くで、小学校の余裕教室をなぜ使わないのかと聞いたところ、市の4つの児童クラブは、みんな民間で、公立の施設を使うと問題があるとのこと。現在、公立で実施を検討する予定はないそうである。子供の健全育成のため、支援充実をお願いした。高齢者福

社の側からも老人子育てボランティアを登録、地域における子育て支援を行えないかと提案したら、現在、高齢者クラブと子供の交流事業は実施中。

平成十三年六月定例議会

市町村合併の推進について

茨城県市町村合併推進委員会の「将来目指すべき合併パターン」は、日立市・高萩市・北茨城市・十王町の三市一町の合併である。市町村合併によるメリットは、住民の利便性の向上、サービスの多様化・高度化、行財政の合理化・効率化など、たくさんある。また、支援制度を整理すると、次ページの表のように、財政面でのメリットも十分にある。これだけの有利な条件がある以上、何とかして、**補助金の期限である平成十七年三月までに、合併推進に取り組んでいただきたい**と私は考えている。

今や市町村合併は、時代の流れである。市長の意気込みと今後の計画について尋ねたところ、市長も三市一町のパターンで理解を持っており、タイムミングをよくみて当然前向きに考えていくべき。日立市長の議会答弁で「三市一町における実務者レベルの調査研究体制を整備したい」とあり、高萩市にも参加要請があり、この中で十分議論が出来ればと考えているそうである。先日は、私から**日立市長に対して、是非合併を推進して頂くよう、強く、要望**してきたくところである。

大久保市長は、更に、できれば、議会側でも何か、合併気運の盛り上げ、研究について一つの機構を作り、協議してほしいと言っていたが、これについては、昨年十二月、私から議会運営委員会に合併に対する意見書を出したが、時期が早いということで見送られた経緯があり、他の議員さんの意向を確認していきたいと考えている。

市町村合併は、それ自体がゴールではなく、その後の市町村形態、行政システムの構築が大切で、地域の将来ビジョンを住民に示す必要がある。市民とともに真剣に考えなければいけない。

合併実現のためには、**首長及び議員の熱意が欠かれない**。合併を進める立場として、**次期市長選に出になる方には、ぜひ合併を公約にし、推進していただきたい**。

詳細については、八月五日に出される「議会だより」をご覧ください。

委員会では、六月に起きた、池田市の小学生殺傷事件より、高萩市としての対策を検討・確認した。また、現在の教育現場における道徳教育のあり方について議論した。

総合福祉センターが出来たので、現在、教育委員会は、旧保健センターに移動している。その建物の取扱いについて、問いただしたところ、今だあいまいになっているので、明確にしていかなければいけない。

合併にかかる財政措置（財産規模と人口からの算出）

項 目	備 考	高萩市と十王町	高萩市と北茨城市	高萩市と北茨城市と十王町	高萩市と日立市、北茨城市、十王町
合併特例交付金	茨城県	5 億円	5 億円	7.5 億円	10 億円
支援事業として	茨城県	10 億円	10 億円	10 億円	10 億円
合併特例債	国 10 年間で	134.8 億円	255.4 億円	423.9 億円	604.3 億円
そのうち普通交付税額		約 80 億円	約 160 億円	約 260 億円	約 375 億円
合併市町村補助金	国 17.3.3.1 までに合併した場合	5000 万円	7000 万円	7000 万円	1 億円
合併直後の臨時的経費にかかる財政措置	〃 5 年間で	3.4 億円	5.4 億円	7.5 億円	24 億円
市町村合併に対する新たな特別交付税		7～8 億円	7～8 億円	7～8 億円	9～10 億円
合併移行経費に対する財政措置	10 年間	合併前の市町村が存続したものとして算定した合算額を下回らないように算定した額を交付税の額とする。			
合併算定替 (普通交付税の算定の特例)		合併市町村が速やかな一体性を確立するため、合併前に要する電算システム統一等の経費について、特別交付税措置が講じられる。			

所 感

情報化社会の現在、インターネットでどんな情報も手軽に手にいれることが出来るようになり、行政についても、国・県・他の市町村の動きが手に取るように分かります。そうやって、高萩市の外に目を向けてみますと、高萩はもっと前進しなければならない点がたくさんあると感じております。今回の男女共同参画社会推進についても、水戸市や日立市では対策部門を設けて、積極的に進めています。企業努力という言葉がありますが、高萩市はもっと「行政努力」をする必要があるでしょう。それも、施設・建物などのハード面ではなく、福祉・教育などのソフト面での努力をしなければならないと思っております。合併問題についても、積極的に進めてい

きたいとの市長の答弁でしたが、具体的な動きはまだ見えてきません。早く協議会等を設置して、近隣市町村との調整を進めなければ、高萩市だけが取り残されかねません。私からは、日立市長に要望を伝えてありますので、再度、合併協議会の設置を提案し、皆さんとともに合併推進に取り組んでいきたいと思っております。今後とも、皆さんの御指導・御協力をよろしくお願い致します。

また、何か御意見・御要望等がございましたら、下記まで、ご連絡頂きますようお願い申し上げます。